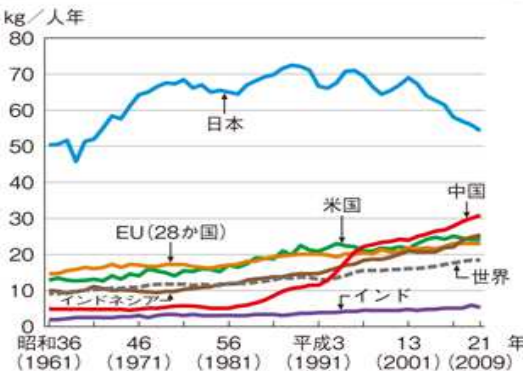


～ **世界の魚消費量 最高に** ～

図Ⅱ-5-7 世界の食用魚介類の年間国内供給量の推移（1人当たり主要国別）



資料：FAO「Food balance sheets」(日本以外の国)、農林水産省「食料需給表」(日本)

世界一人当たりの魚介類消費は2014年に平均20.1kgとなり過去最高を更新したそうです。発展途上国では18.8kg、先進国では26.8kgで上昇のトレンドは変わっていません。**発展途上国では可処分所得の増加、先進国では健康志向の高まりが魚の消費量を増加させた要因**と考えられています。一方、日本の一人当たりの消費量は27.3kgでピークに比べて**33%減**となっています。しかし金額ベースでは横ばいから微増傾向で推移していることから価格の上昇が影響して消費量にブレーキをかけているようです。魚の消費に関しては我が国日本は優位な立場でしたが、世界的に水産物の引き合いが強まっている中、それが揺らいでいます。

～ **シラス 資源回復へ遠い道のり** ～



絶滅危惧種として今では有名なウナギの稚魚「シラス」。国内では資源管理のためウナギの養殖業を許可制にしたり、生産国（中国、台湾、韓国）と協議してシラスの池入れ量を取決めしたりしましたが、取決めした量も確保できないくらいで状況は深刻です。かつては200トンを超える採捕量があったジャポニカ種シラスが現在（2010～2103年）では10トンを超える水準だそうです。依然として密貿易が絶えない状況であり、その輸出先が日本であるのは何とも残念な話です。



8月の主な魚



魚種	県内産地
コゾクラ	金沢、能登
岩カキ	能登、
アカカレイ	能登
バイガイ	珠洲
スズキ	内灘、珠洲
アカイカ	金沢、美川
サザエ	輪島、西海
キス	美川、押水

入荷状況 & 商品情報

- 地物 **コゾクラ** (ぶりの幼魚) の入荷が増えてきます。今年は少し遅めかも。(100g～250g) (金沢、能登)
- 能登 **岩カキ** はお盆を境に量、質ともにピークを迎えます。(8月いっぱい)
- **カレイ** や **バイガイ** などは刺し網で漁獲されます。価格もお求め安くなっています。(能登、珠洲)
- **アカイカ** も九州から地物の入荷が増えてきます。型もしっかりしてきました。(美川、金沢)

●商品価格等は各担当者にお問い合わせください。